



ふるさと給食の歴史を知って・・・



校長 大石 桂司

2023年(令和5年)もあと3か月となりました。これから季節も秋から冬に移り変わります。この時期、子どもたちに「秋と言えば、何の秋」と問いかけます。スポーツの秋・紅葉の秋・読書の秋・芸術の秋など答えは様々。その時の気持ちや気分によって秋の表現の内容も変わってきます。子どもたちには、季節を感じ取り、季節に応じた楽しみ方を知ってほしいと思っています。

さて、「秋と言えば」の中に「食欲の秋」もよく聞かれる言葉です。秋には収穫を迎えた食材が多く、その秋の食材は他の季節に比べて旨みが多いから「食欲の秋」と言われているそうです。

ところで、食欲の秋と言えば「ふるさと給食」を連想します。それは、国分寺校区の特徴として、「ふるさと給食」が挙げられるからです。

現在3年生では総合的な学習の時間に「ふるさと給食」をテーマにして、地域の人たちから話を聞いたり、生産地に行って調べたりして学習活動を進めています。

子どもたちが聞いた話では、ふるさと給食はもともと国分寺町が地元で収穫している食材を使って、子どもたちに旬のおいしい給食を提供していたそうです。しかし、高松市との合併により、ふるさと給食が提供できなくなると危惧した地元の方たちが、「やはり子どもたちに地元のおいしい食材を味わってほしい。」と願いのもと実現し、今に至っているという話を聞きました。



【生産者の畑を訪ねた3年生】

ふるさと給食の歴史や地域の生産者の方々の願いを知ることができ、こうした伝統をこれからも受け継ぎ、残していきたいと強く

思いました。きっと、子どもたちも同じ気持ちになったことでしょう。

今年度の南部小教育の重点項目の一つが「体験」です。地域の方と直接関わり、体験談を聞き、そして学習体験を生かして、将来、国分寺町を愛する大人になってほしいと思います。

これから校外学習や修学旅行など、学校では学習できない体験を通して、一回り大きく成長してほしいと思います。

～すこやか広場～

生活目標:進んで読書しよう

お彼岸も過ぎ、過ごしやすい季節となってきました。この時期は、『読書の秋』とも言われるように、落ち着いて本を読むのに適した時期です。本を読むと、今まで知らなかった知識が増えたり、実際には経験したことのない出来事を疑似体験したりと、世界を広げることができます。ぜひ、本に親しんでもらいたいと思います。

～防災学習で災害から身を守るための行動を考えよう～

10月21日(土)に防災学習参観を行います。自然災害は子どもたちが学校にいる時間帯のみならず、家庭や地域にいる間に発生する可能性も高く、日ごろから家庭や地域全体で備えをしておく必要があります。参観に参加された保護者の方にも体験していただき、家庭、地域、関係機関等が連携し、防災についての取組について一緒に考えていただければと思います。お忙しい中ですが、ぜひご参観ください。

香小研研究発表会が行われます

10月26日(木)午後から香小研家庭部会研究発表会が行われます。本校では、1年時から生活科や総合、学活等の学習の中で、家庭科につながる基礎となる学習を行うカリキュラムで学習を進めています。当日は、5、6年の家庭科の授業を行います。準備等のため、授業の学級以外は、12時40分下校、授業の学級は、15時30分下校と変則的になります。ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

～お知らせ～

熱中症対策として、体操服登校を可としていましたが、随分涼しくなってきましたので、10月より標準服登校でお願いいたします。

